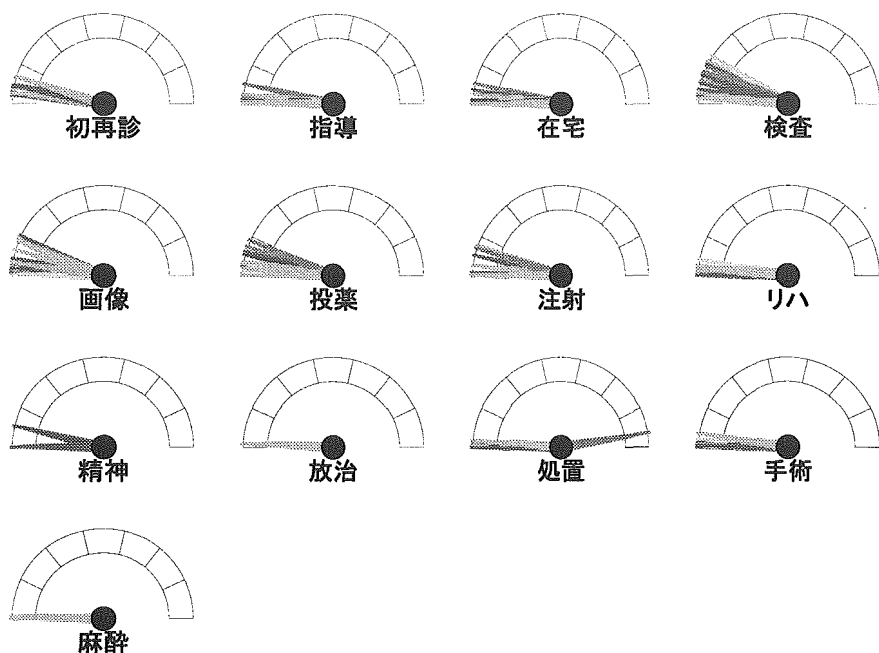


診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

医療法人・個人等200～399床



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- V 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路性器疾患
- X v 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

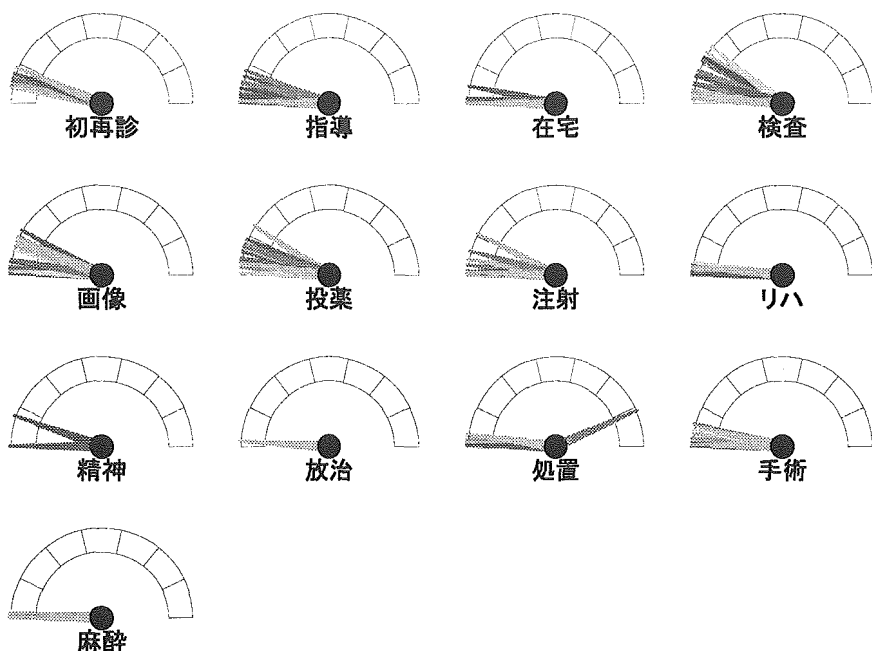
医療法人・個人等200～399床

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	放治	処置	手術	麻酔
I 感染症	241	32		514	148	147	256	3			23	2	1
II 新生物	142	71	29	548	425	346	388	3	4	44	4	42	0
III 造血器疾患	131	58	32	509	170	102	1				0	25	
IV 内分泌代謝疾患	106	36	261	412	36	368	19	6	0		77	38	0
V 精神の障害	136	44	60	111	36	283	28	28	264		7		
VI 神経系疾患	141	103	18	68	192	270	16	196	3		3	1	14
VII 眼疾患	108	10		298	30	123	3	0			4	86	0
VIII 耳疾患	192	81		297	68	97	42				27	50	
ix 循環器系疾患	125	42	50	256	213	305	37	53	1		7	0	6
X 呼吸器系疾患	221	70	180	182	95	181	18	0	0		11	21	0
X I 消化器系疾患	159	27	40	488	147	266	33	1	0		2	0	2
X II 皮膚疾患	190	33	1	64	13	153	5	4			20	100	
X III 筋骨格系疾患	188	23	10	131	319	181	130	43			10	11	26
X IV 尿路性器疾患	210	251	43	371	154	453	348	6	1		3321	24	2
X v 妊娠分娩	179	1		624		43	7				7		
X VI 周産期病態	335	68		478									
X VII 先天奇形	133	122	131	133	156	8		123					0
X VIII 症状徴候	222	41	41	356	506	107	33	7	3		5	24	2
X ix 損傷中毒	343	34	8	76	455	106	14	81			87	173	1

診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

医療法人・個人等100～199床



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- v 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路性器疾患
- X v 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

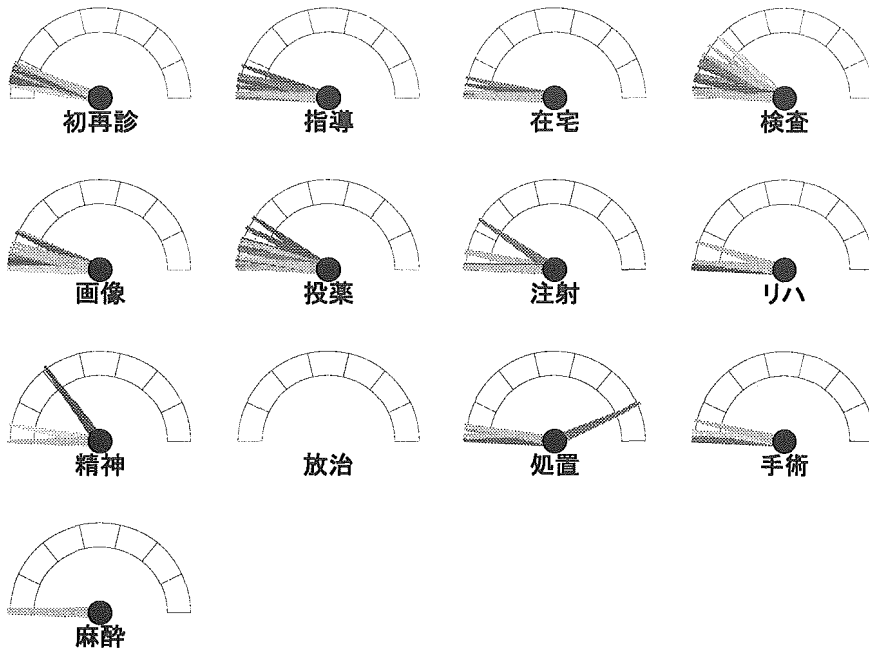
医療法人・個人等100～199床

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	放治	処置	手術	麻酔
I 感染症	297	83	15	326	71	170	100	2			16	11	0
II 新生物	220	155	26	518	381	509	427	6		51	26	125	1
III 造血器疾患	240	35	9	432	22	159	102	24			10		0
IV 内分泌代謝疾患	182	195	178	454	81	315	31	12	0		113	37	2
v 精神の障害	178	39	6	119	44	268	9	111	303		2		0
VI 神経系疾患	206	128	53	108	249	292	21	119	7		7	17	8
VII 眼疾患	156	11	12	285	11	228	17	3			8	16	1
VIII 耳疾患	232	59	5	184	44	77	3				71	80	
ix 循環器系疾患	184	274	57	183	150	361	39	30	1		11	15	4
X 呼吸器系疾患	262	99	174	115	65	252	24	2			10	1	0
X I 消化器系疾患	218	151	24	471	129	288	38	5	2		9	8	4
X II 皮膚疾患	267	33		80	38	128	25				43	166	
X III 筋骨格系疾患	258	35	8	130	290	262	158	72	2		44	17	44
X IV 尿路性器疾患	244	217	34	331	142	288	241	4	3		2439	225	9
X v 妊娠分娩	159	41		600		17					2		
X VI 周産期病態	236	330		202									
X VII 先天奇形	198	29	3	106	335	146	1	52					0
X VIII 症状徴候	293	66		267	458	145	28	6	2		15		2
X ix 損傷中毒	356	31	8	48	380	123	32	83			121	205	3

診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

医療法人・個人等50~99床



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- V 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路性器疾患
- X v 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

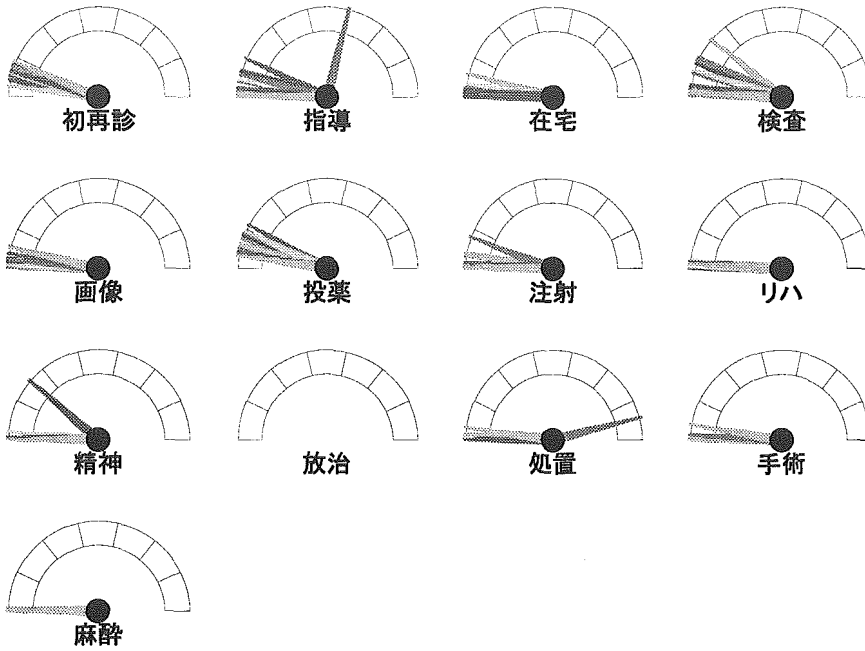
医療法人・個人等50~99床

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	処置	手術	麻酔
I 感染症	331	110	10	218	58	288	183	14		31	10	0
II 新生物	220	128	55	535	402	304	160	4		15	46	1
III 造血器疾患	182	4	19	237	15	85	12			5	12	
IV 内分泌代謝疾患	190	234	196	348	52	427	47	8		9	1	1
V 精神の障害	158	21	43	97	48	545	28	49	842	12		0
VI 神経系疾患	205	163	83	174	146	263	29	72	165	11	21	8
VII 眼疾患	170	9		311	45	122	3			13	8	0
VIII 耳疾患	308	196		199	92	193	41	2		111	33	
ix 循環器系疾患	191	325	46	166	113	431	31	17	0	36	4	3
X 呼吸器系疾患	293	116	128	75	46	234	46			10	1	0
X I 消化器系疾患	221	177	52	373	94	314	41	4		7	2	2
X II 皮膚疾患	284	61	0	64	32	151	16			39	83	0
X III 筋骨格系疾患	274	47	19	81	223	298	180	81	0	60	11	38
X IV 尿路性器疾患	260	232	24	373	152	203	515			2425	12	3
X v 妊娠分娩	122	10		659	1	67	10			6	98	
X VI 周産期病態	230	5		423		42						
X VII 先天奇形	250	63	58	438	175	19		274				
X VIII 症状徴候	277	44		185	374	104	41	50		2		
X ix 損傷中毒	352	37	5	30	273	118	24	72		152	202	6

診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

医療法人・個人等～49床



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- v 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路性器疾患
- X v 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

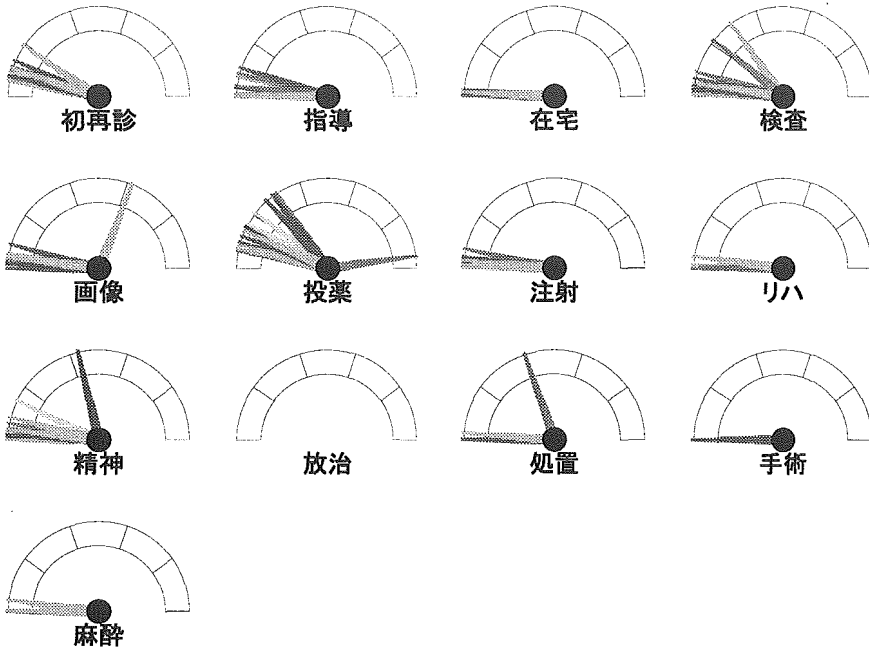
医療法人・個人等～49床

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	処置	手術	麻酔
I 感染症	330	86		398	66	209	127	4		23		
II 新生物	206	153	232	619	135	225	156	1		10	31	0
III 造血器疾患	252	67		236	211	334				9		
IV 内分泌代謝疾患	218	269	99	370	77	339	60	17	2	10	0	6
v 精神の障害	159	41	5	87	79	371	3	16	632	0		
VI 神経系疾患	212	98	134	99	116	286	14	18	72	8		8
VII 眼疾患	169	11	2	252	2	172	2			26	6	
VIII 耳疾患	303	16		18	3	295	33					
ix 循環器系疾患	203	389	50	112	96	447	27	20	24	10	2	1
X 呼吸器系疾患	271	155	75	107	36	334	49			7		1
X I 消化器系疾患	230	255	46	336	64	331	58	0		13	3	0
X II 皮膚疾患	224	171	6	53	29	137	26	16		28	39	
X III 筋骨格系疾患	271	47	16	66	132	243	133	80	0	57	3	25
X IV 尿路性器疾患	263	221	14	410	85	363	317			2579	52	6
X v 妊娠分娩	104	5		269		378	3			3		
X VI 周産期病態		1620										
X VII 先天奇形	249	88	1	120	145	160	56	68		6		
X VIII 症状徴候	351	22		41	201	128	20	46		120	151	2

診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

精神病院



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- V 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路器疾患
- X V 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

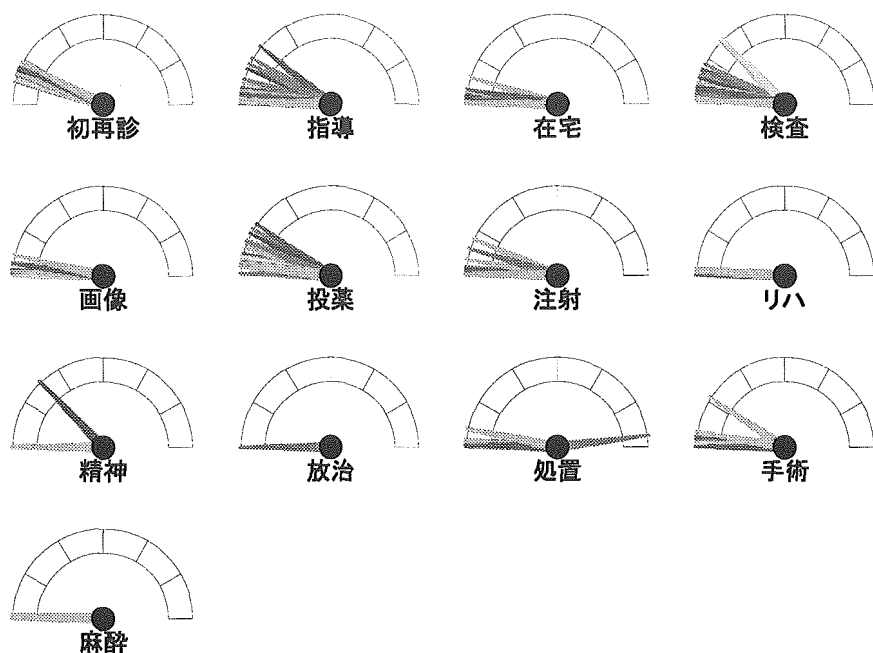
精神病院

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	処置	手術	麻酔
I 感染症	260	7		79	2	188	44		27	6		
II 新生物	384	143		595	1234	166	82	1	73			
III 造血器疾患	213	2		427	55	233	45					
IV 内分泌代謝疾患	147	166	47	177	66	619	27	1	118	0		1
V 精神の障害	138	22	4	53	11	592	16	0	857	0	0	0
VI 神経系疾患	138	209	1	86	15	419	4	1	289	0		
VII 眼疾患	164	10		129	0	126				0		
VIII 耳疾患	188	2				299	17					
ix 循環器系疾患	147	207	41	88	105	532	25	21	81	2		1
X 呼吸器系疾患	211	24	10	32	33	322	34	0	3			
X I 消化器系疾患	168	66	38	37	36	304	75	0	27	0		0
X II 皮膚疾患	168	6		19		327				6		
X III 筋骨格系疾患	173	19	29	25	79	274	25	17	3	4		6
X IV 尿路器疾患	140	76		41		1914	136	3	67	789		
X V 先天奇形	112			16		139			160			
X VII 症状徴候	150	2		50	172	232			40	0		
X ix 損傷中毒	206	4	38	97	104	272	55	84	77	48		82

診療区分別傷病分類別点数

W点/W件

診療所



- I 感染症
- II 新生物
- III 造血器疾患
- IV 内分泌代謝疾患
- v 精神の障害
- VI 神経系疾患
- VII 眼疾患
- VIII 耳疾患
- ix 循環器系疾患
- X 呼吸器系疾患
- X I 消化器系疾患
- X II 皮膚疾患
- X III 筋骨格系疾患
- X IV 尿路性器疾患
- X v 妊娠分娩
- X VI 周産期病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状徴候
- X ix 損傷中毒

W点/W件

診療所

	初再診	指導	在宅	検査	画像	投薬	注射	リハ	精神	放治	処置	手術	麻酔
I 感染症	328	95	7	126	9	184	51	1	0	0	62	3	1
II 新生物	297	187	230	582	86	314	321	2	0	0	55	100	1
III 造血器疾患	274	75	19	283	14	188	74	0	0		7	1	0
IV 内分泌代謝疾患	253	405	118	254	17	416	36	3	1		24	22	1
v 精神の障害	205	46	78	72	16	283	14	2	619		3	0	0
VI 神経系疾患	268	113	107	63	81	289	46	23	15		8	1	9
VII 眼疾患	196	7	1	303	0	108	2	0	0		20	79	1
VIII 耳疾患	329	21	0	174	4	113	11		0		159	50	0
ix 循環器系疾患	251	527	125	111	31	466	37	4	1		29	4	3
X 呼吸器系疾患	319	143	34	56	12	195	20	0	0		32	2	0
X I 消化器系疾患	290	309	38	223	51	372	51	2	0		14	8	1
X II 皮膚疾患	269	45	3	35	1	169	9	0	0	0	41	20	0
X III 筋骨格系疾患	368	101	30	52	119	243	136	64	0		36	9	42
X IV 尿路性器疾患	322	218	57	348	32	299	231	0	0	0	2305	54	2
X v 妊娠分娩	207	18		621	3	142	32				33	40	1
X VI 周産期病態	254	352		84		22					11		
X VII 先天奇形	265	124	2	182	44	75	5	29			39	441	0
X VIII 症状徴候	322	91	46	150	105	122	27	3	2		18	5	1
X ix 損傷中毒	371	31	19	33	180	116	19	28	0		148	131	3

(6) 地域医療の視点からの外来機能の分析に関する検討

一方、地域に於ける外来診療の評価のために、都道府県単位、および二次医療圏単位で地域外来患者プロフィール、地域外来患者診療圏分析、医療機関機能分類別の外来患者地域シェア分析を行い、同様に分析・ポートフォリオを作成した。外科的治療に関係する傷病、複雑性重症度の高い傷病、稀少性の高い傷病等で大規模病院への集中傾向が認められ、地域に於ける外来診療の役割から外来診療を評価する可能性があることが示唆された。

6-1. 二次医療圏別 MDC 別1日当たり外来患者数

○チャート様式

形式:	3次元棒グラフ
グループ:	MDC 主要疾患分類
系列:	二次医療圏
ページ:	都道府県 x (初診、再診)

○視点

二次医療圏毎の外来患者数の主要疾患別のプロフィールから地域の外来患者疾病構造を把握し、他の二次医療圏、都道府県と比較対照することで、地域特性を明らかにすることができる。

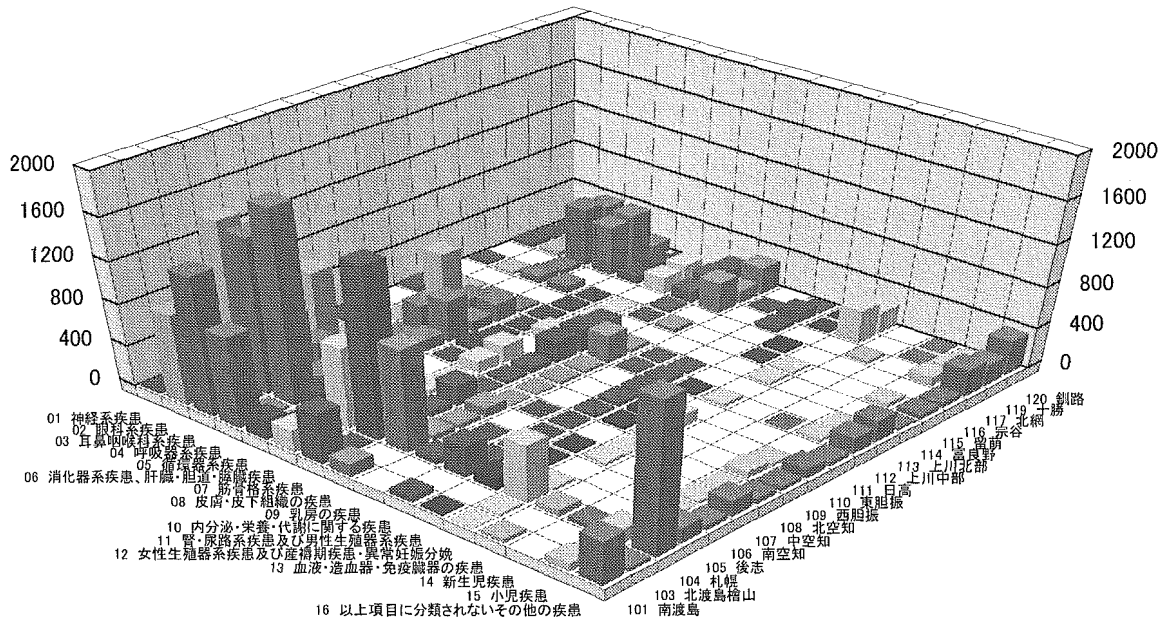
○分析結果の要点

- ・北海道では札幌が圧倒的に多く、再診は消化器、その他、呼吸器の順であり、初診は眼科、耳鼻科も多い。
- ・青森県では青森が多く、消化器、呼吸器の順であり、初診の耳鼻科が多いのが特徴。
- ・岩手県では、盛岡が多く、再診は呼吸器が1番多いのが特徴で、初診では耳鼻科が多い。
- ・宮城県では、仙台が多く、再診は消化器、呼吸器の順で、初診の耳鼻科が多い。
- ・群馬の渋川医療圏で循環器が多く、東京都の区西北部で消化器が多い等地域の特徴がある。

二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

北海道

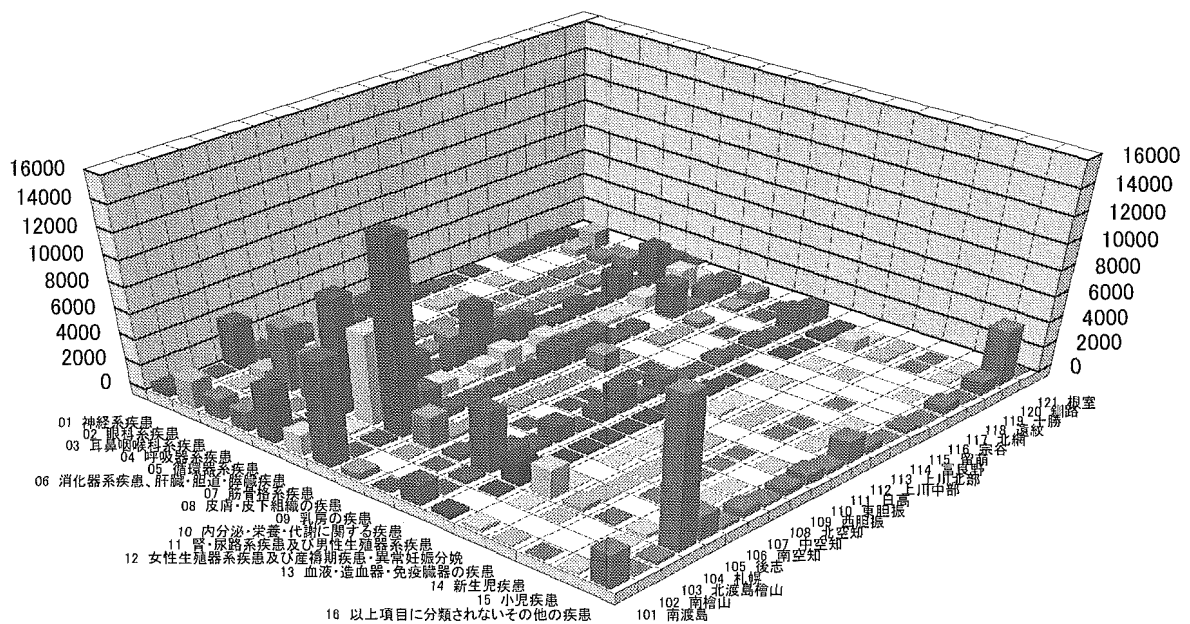
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

北海道

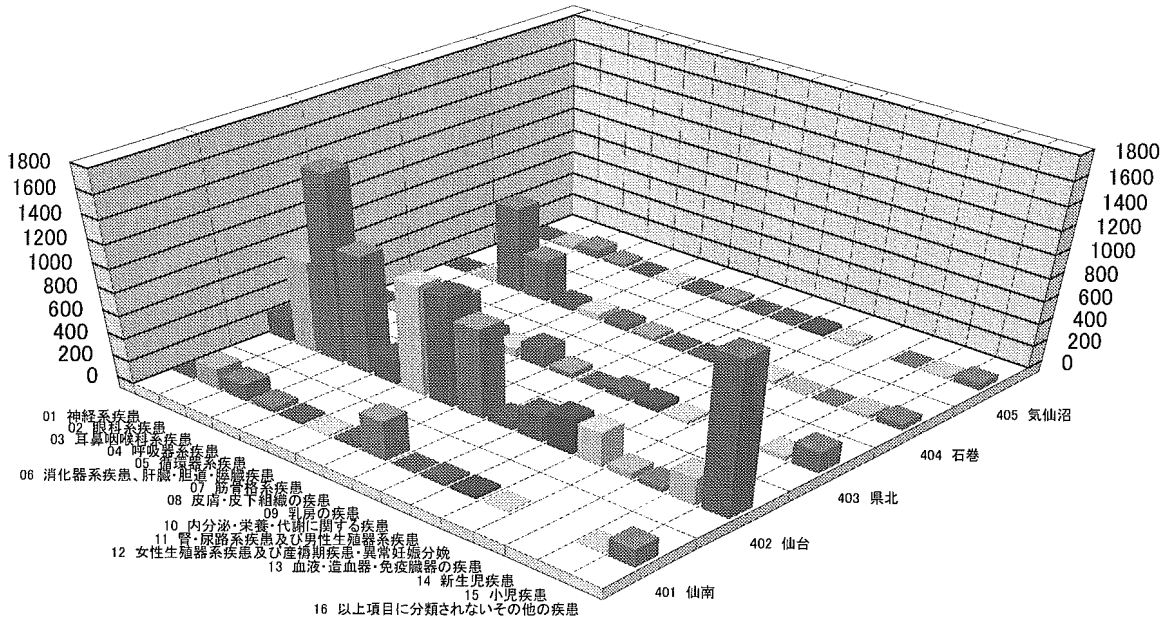
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

宮城県

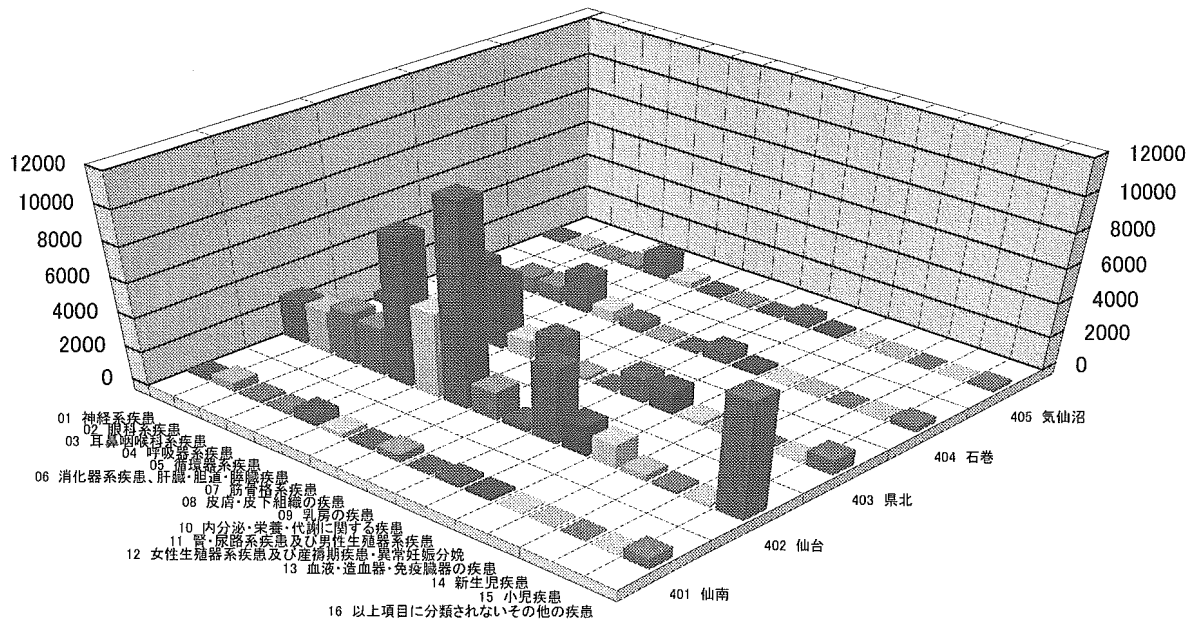
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

宮城県

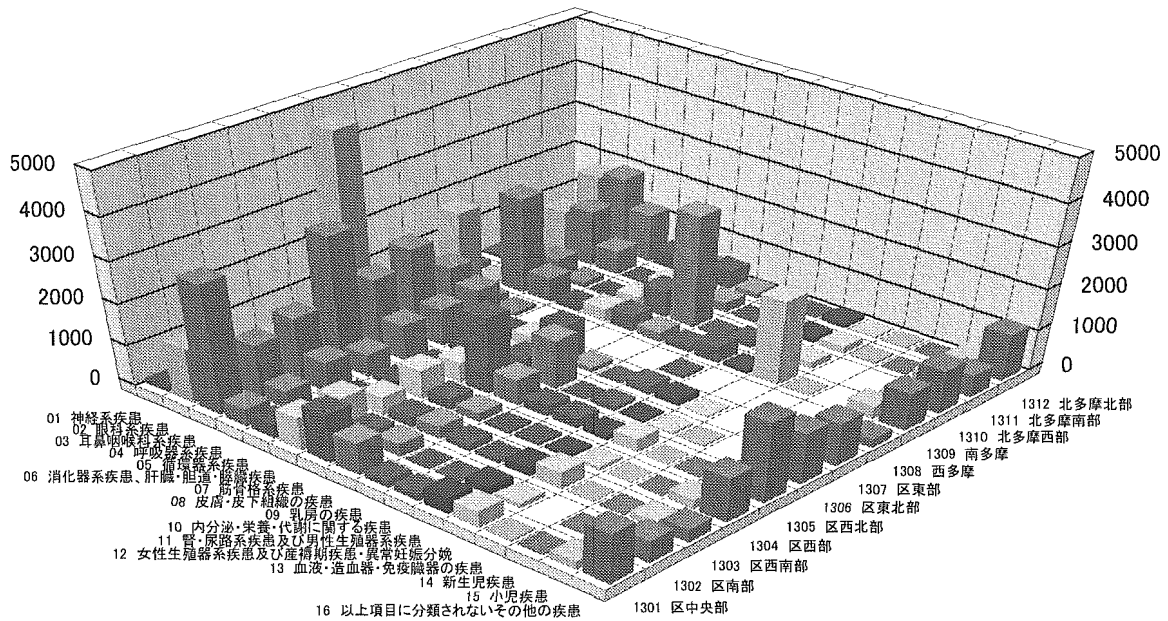
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

東京都

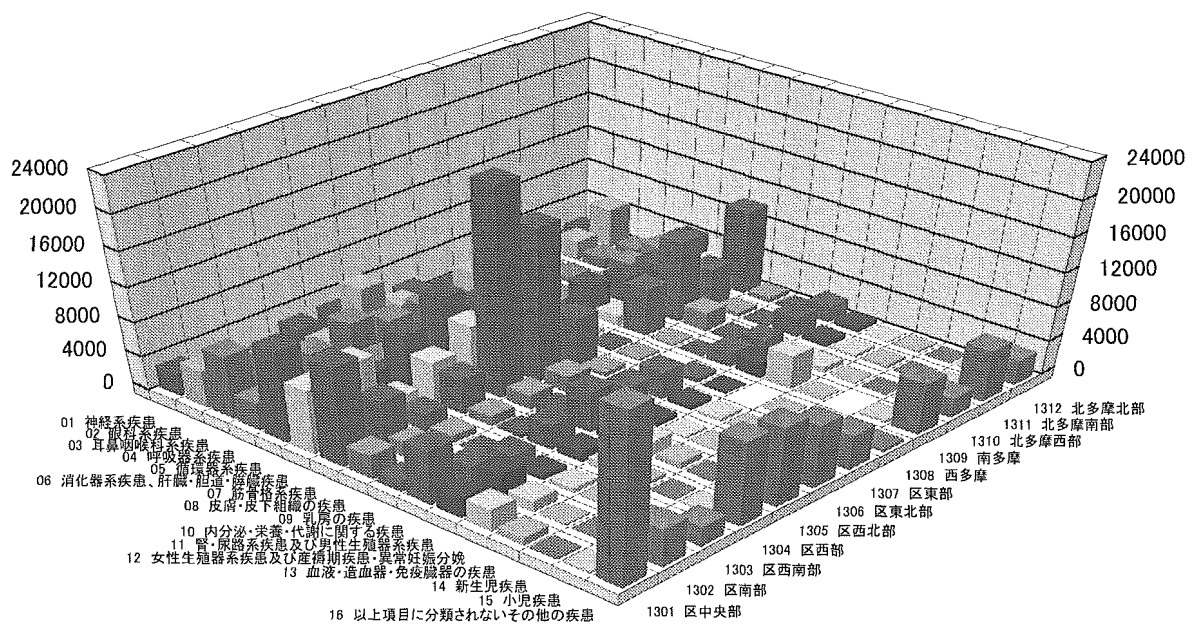
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

東京都

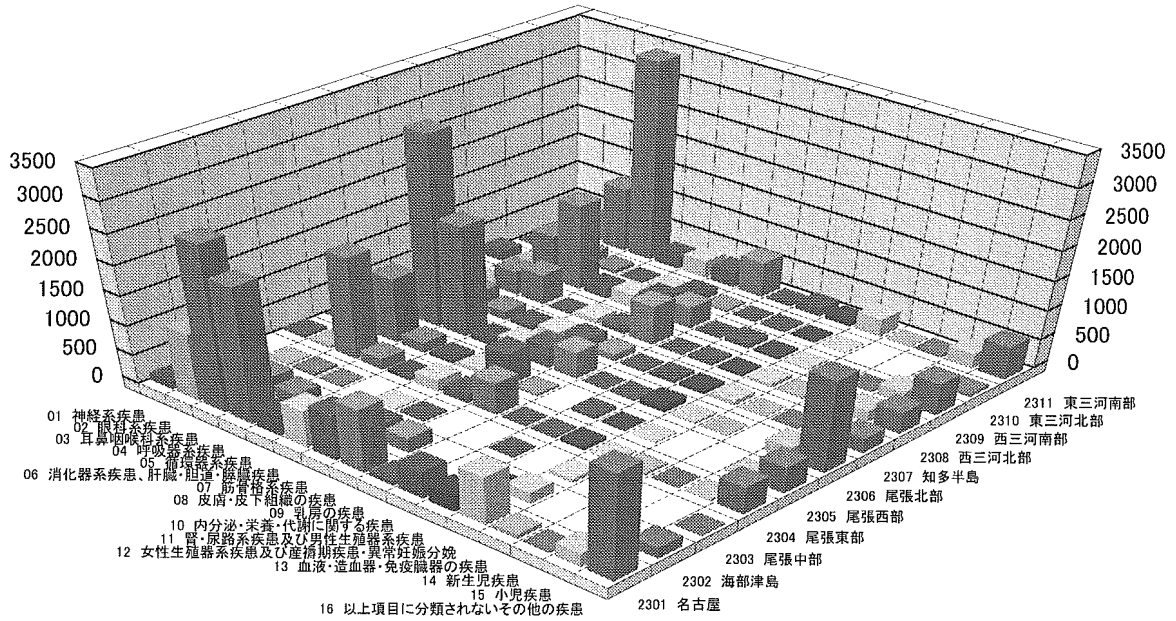
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

愛知県

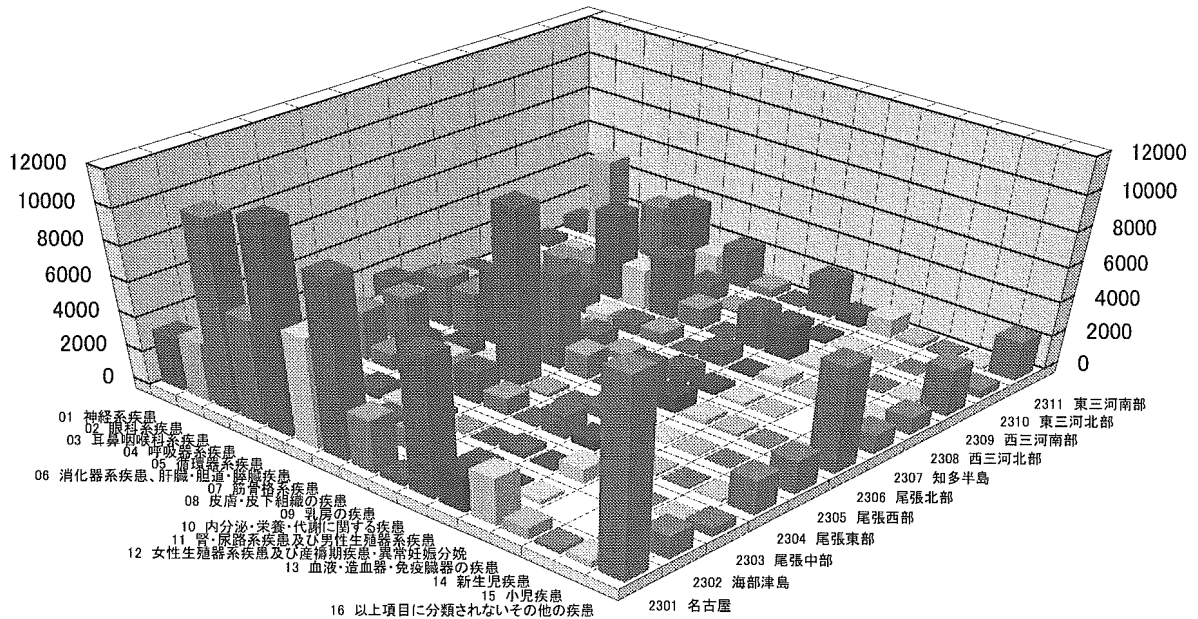
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

愛知県

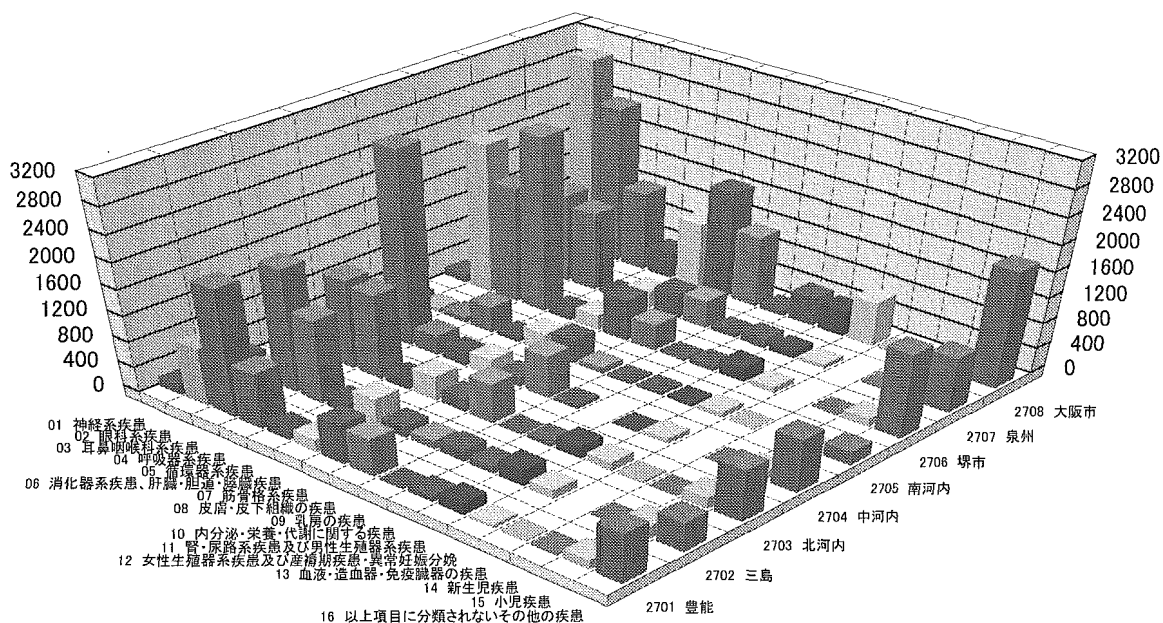
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

大阪府

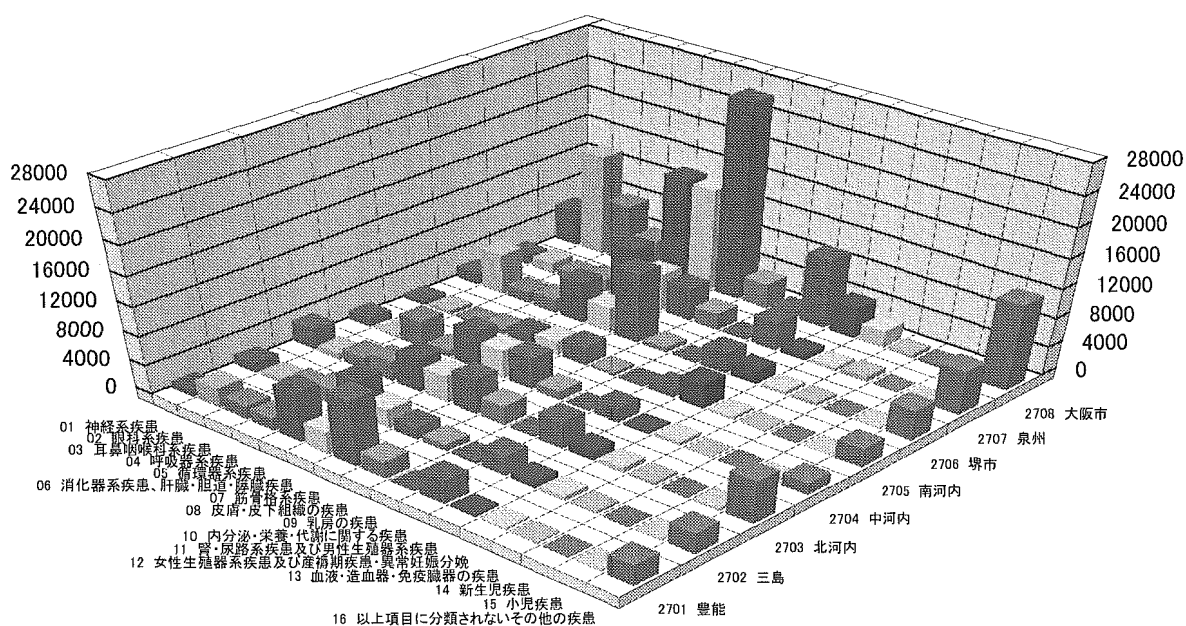
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

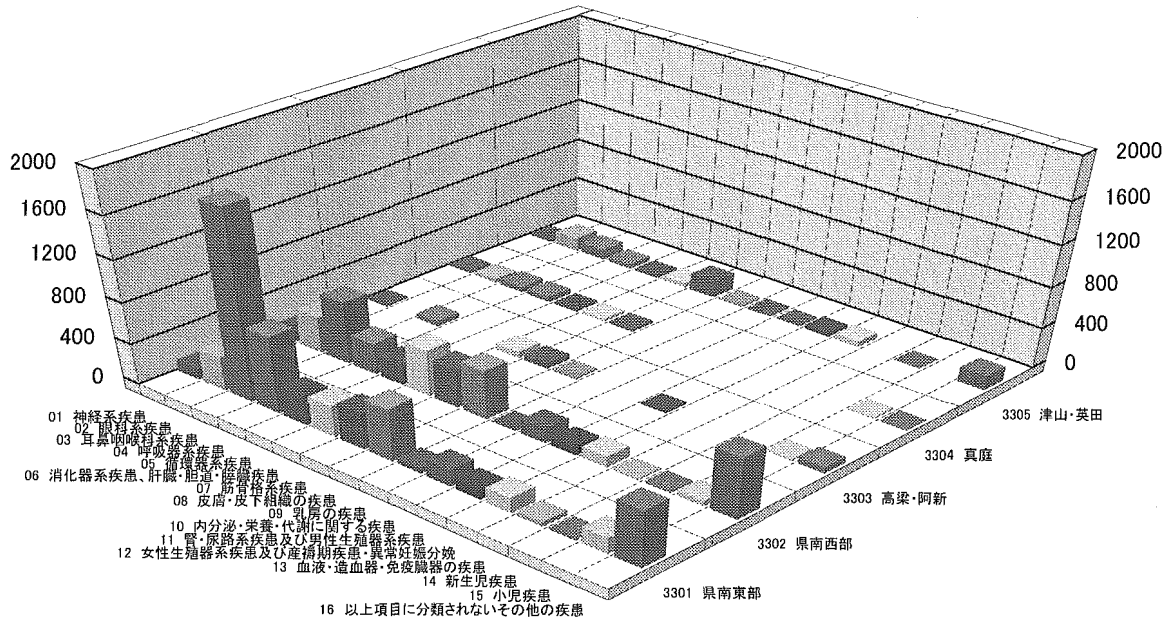
大阪府

再診



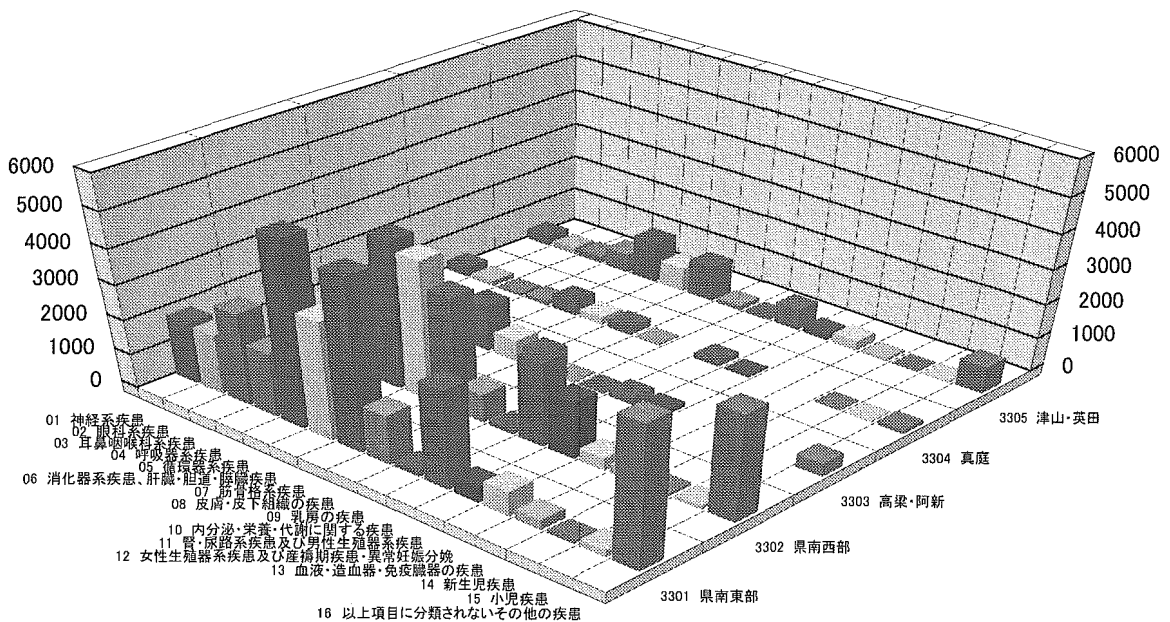
二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

岡山県
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

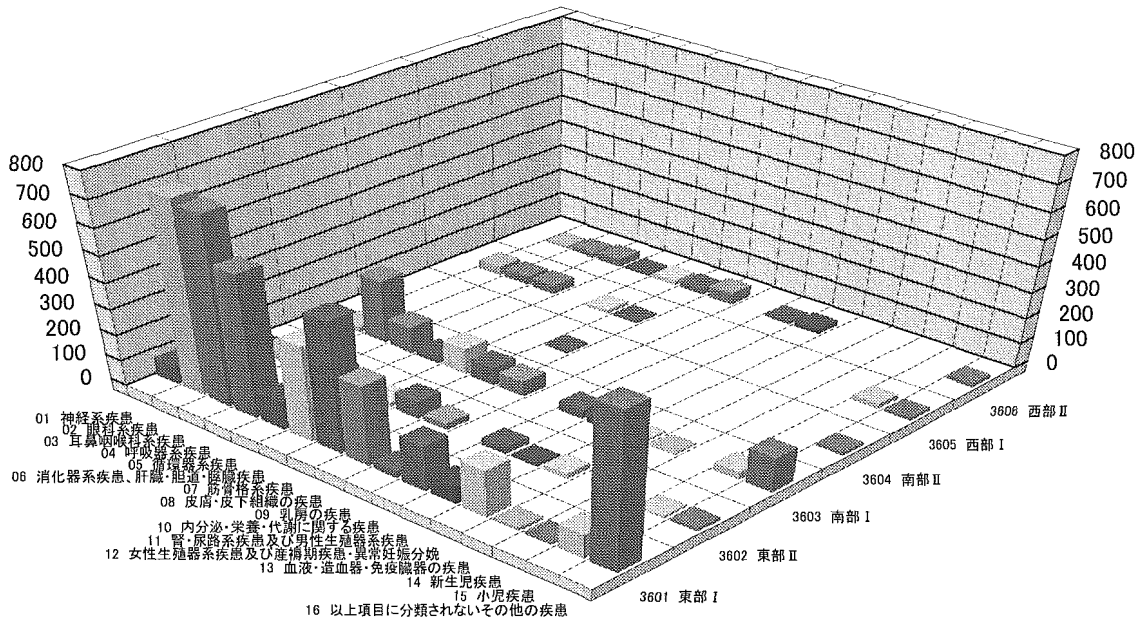
岡山県
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

徳島県

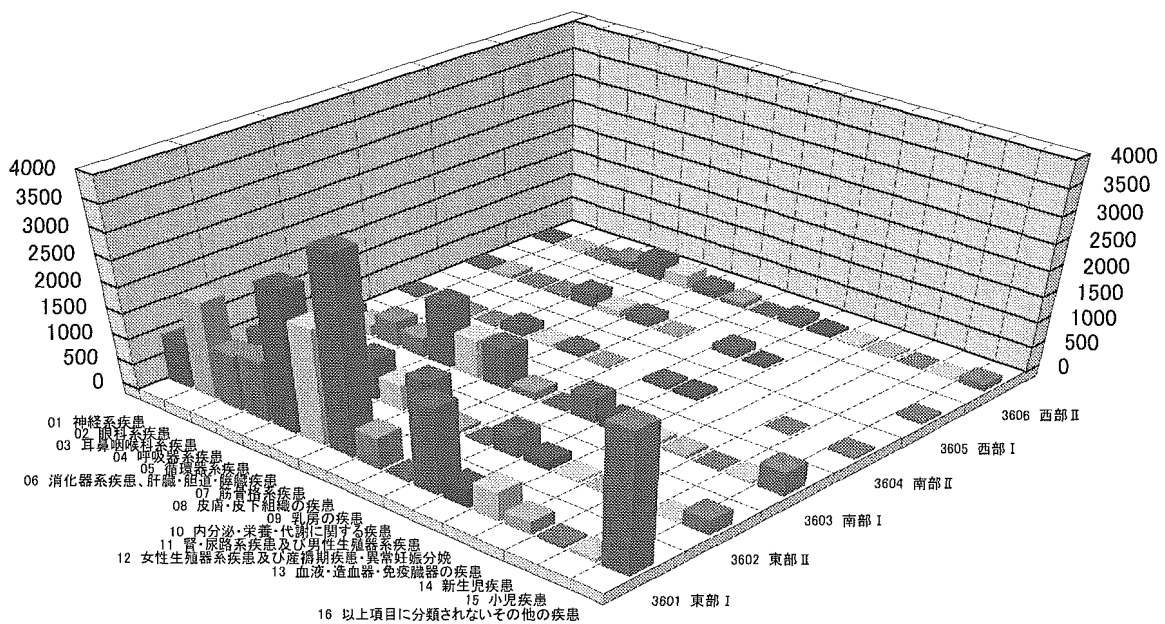
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

徳島県

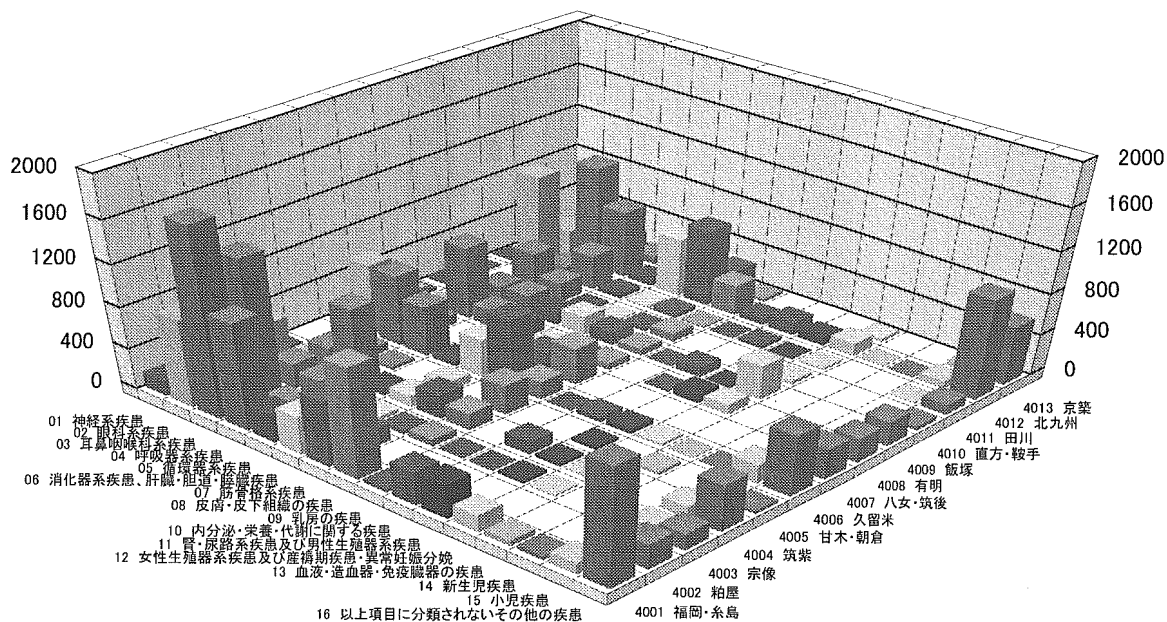
再診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

福岡県

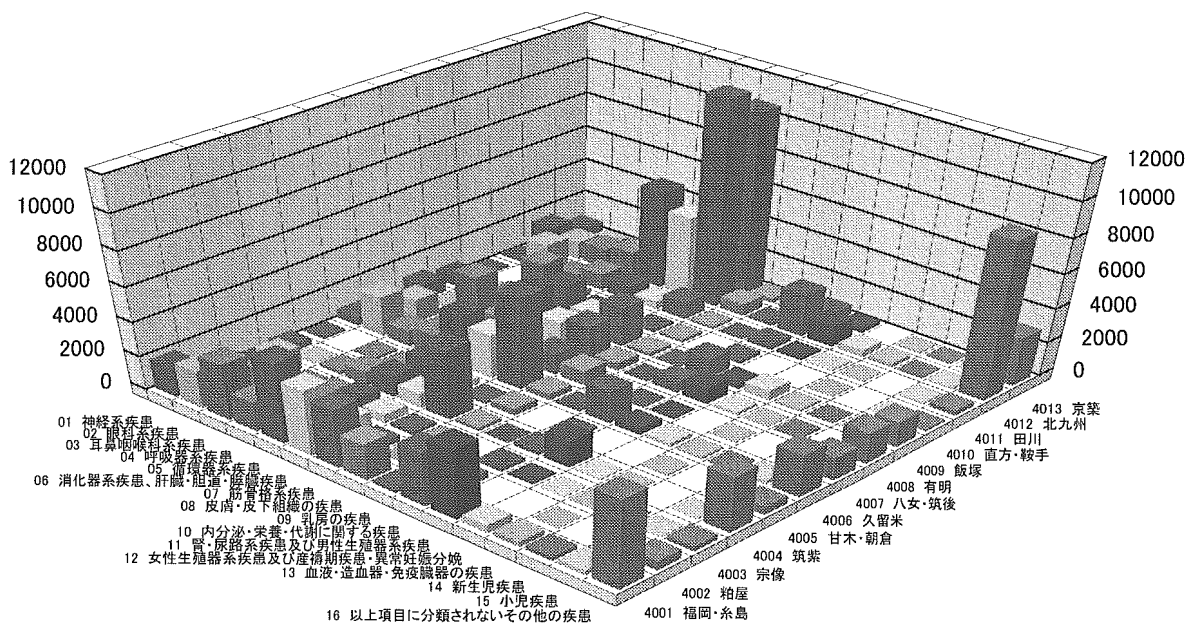
初診



二次医療圏別MDC別1日あたり外来患者数

福岡県

再診



6-2. 外来患者シェア分析

○チャート様式

形式:	散布図
水平軸:	MDC 別二次医療圏内再診患者シェア
垂直軸:	MDC 別医療機関1日当たり再診患者数
ページ:	医療機関(任意サンプリング)

○視点

MDC 主要疾患分類別に自院の再診外来患者数と二次医療圏内でのシェアを視覚的に把握することができる。SWOT 分析と組み合わせることにより、

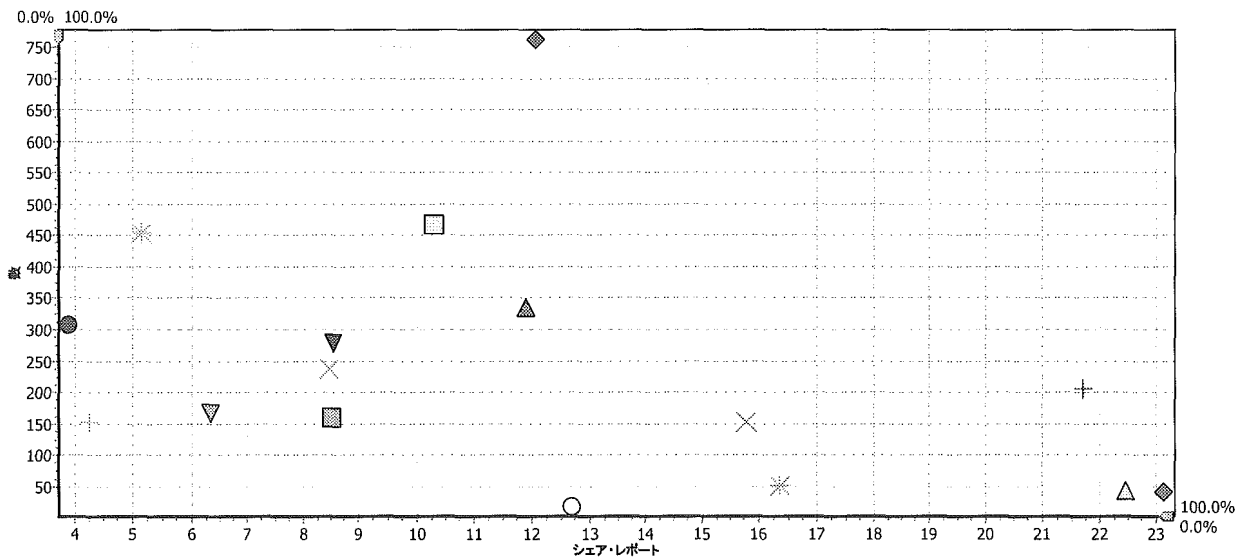
- ①地域シェアが高く、自院患者数も多いグループ:「強み」で「好機」なので積極的にマーケットシェアを伸ばす戦略が有効。
- ②地域シェアが低く、自院患者数が多いグループ:「強み」ではあるが「脅威」もある環境であるので、「差別化戦略」がマーケティングに有効。
- ③地域シェアが高いが、自院患者数が少ないグループ:「弱み」ではあるが「好機」であり、地域ニーズも高いので補強が望ましい分野。
- ④地域シェアが低く、自院患者数も少ないグループ:「弱み」であり「脅威」もある環境であるので、「縮小または撤退」も。

のような外来診療の戦略的マーケット分析が可能である。

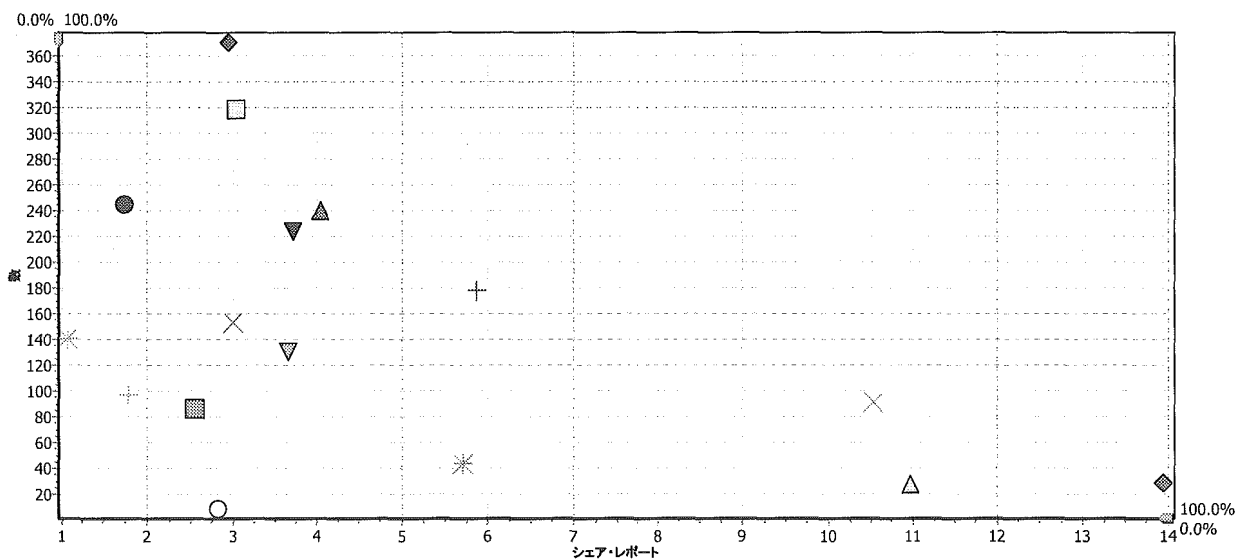
○分析結果の要点

・最初のパネルに示す病院は、

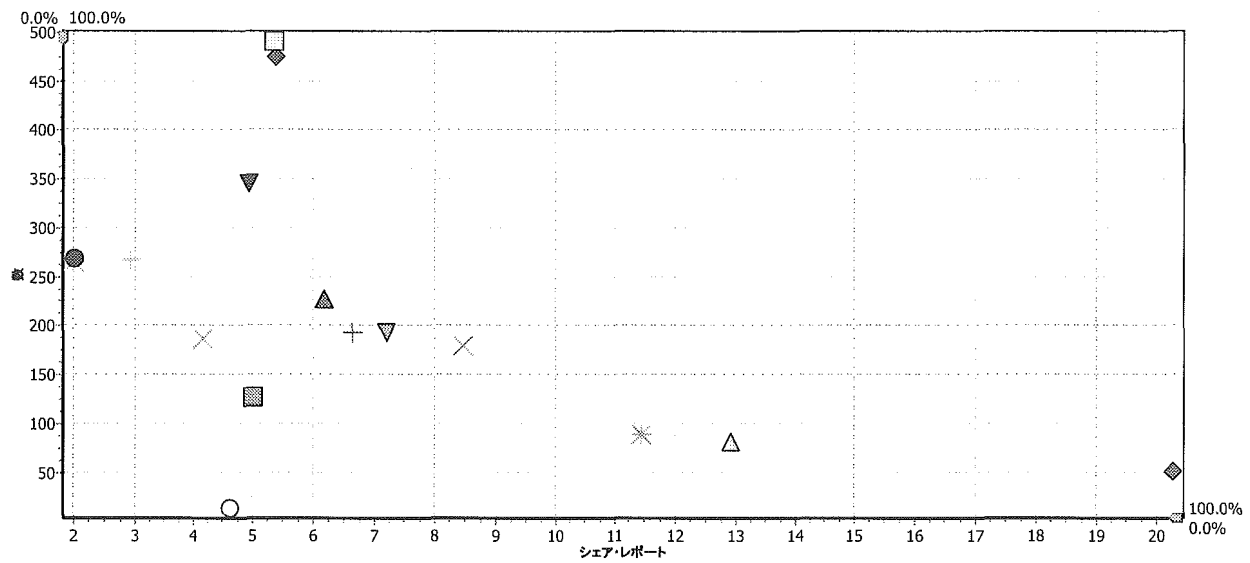
- ①に該当する MDC なし
- ②に該当するのは MDC06 消化器系で、1日当たり再診患者数 750 人、二次医療圏内シェア 11%で「差別化戦略」により外来シェアを伸ばせる可能性がある。
- ③に該当するのは MDC14 新生児、MDC09 乳腺疾患、MDC11 泌尿器系等で地域シェアが 20%以上と高く地域での役割が非常に高いようである。このまま確実に維持する必要がある分野であろう。
- ④に該当するのは、あまり無いが、MDC03 耳鼻科、MDC02 眼科がこれに近い。場合によっては近位との提携や縮小、撤退も考慮する必要があるだろう。



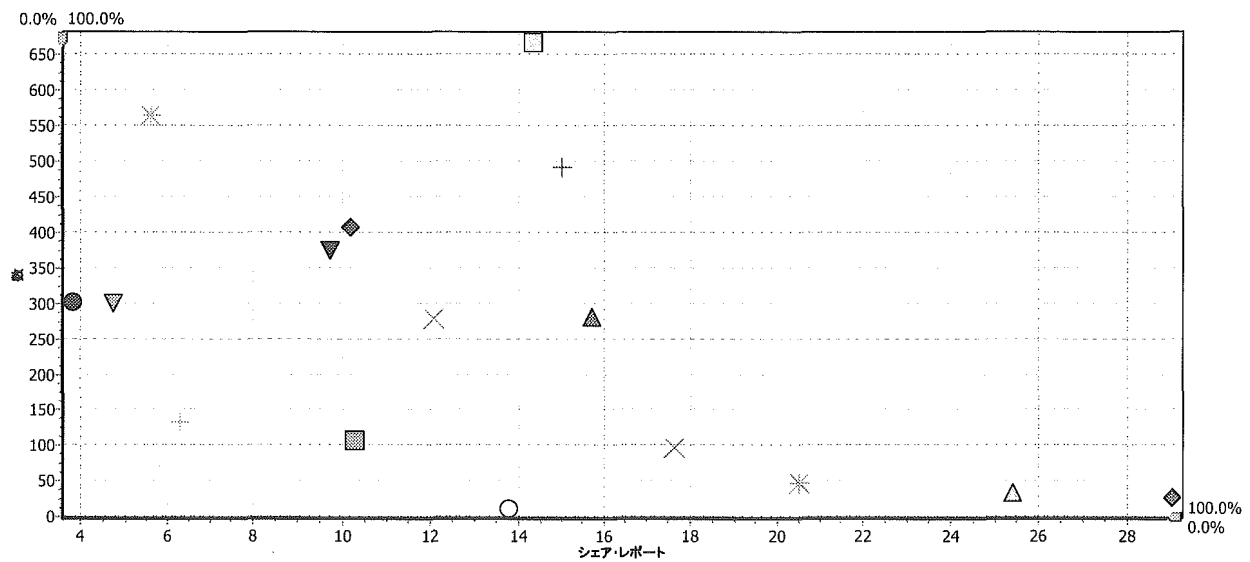
- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ▲ 01 神経系疾患 | ▽ 02 眼科系疾患 |
| + 03 耳鼻咽喉科系疾患 | × 04 呼吸器系疾患 |
| ※ 05 循環器系疾患 | ◆ 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 |
| ● 07 筋骨格系疾患 | ■ 08 皮膚・皮下組織の疾患 |
| △ 09 乳房の疾患 | ▼ 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 |
| + 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患 | × 12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 |
| ※ 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患 | ◆ 14 新生児疾患 |
| ○ 15 小児疾患 | □ 16 以上項目に分類されないその他の疾患 |



- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ▲ 01 神経系疾患 | ▽ 02 眼科系疾患 |
| + 03 耳鼻咽喉科系疾患 | × 04 呼吸器系疾患 |
| ※ 05 循環器系疾患 | ◆ 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 |
| ● 07 筋骨格系疾患 | ■ 08 皮膚・皮下組織の疾患 |
| △ 09 乳房の疾患 | ▼ 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 |
| + 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患 | × 12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 |
| ※ 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患 | ◆ 14 新生児疾患 |
| ○ 15 小児疾患 | □ 16 以上項目に分類されないその他の疾患 |



▲ 01 神経系疾患	▼ 02 眼科系疾患
+ 03 耳鼻咽喉科系疾患	× 04 呼吸器系疾患
* 05 循環器系疾患	◆ 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
● 07 筋骨格系疾患	■ 08 皮膚・皮下組織の疾患
△ 09 乳房の疾患	▽ 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
+ 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	× 12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
* 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	◇ 14 新生児疾患
○ 15 小児疾患	□ 16 以上項目に分類されないその他の疾患



▲ 01 神経系疾患	▼ 02 眼科系疾患
+ 03 耳鼻咽喉科系疾患	× 04 呼吸器系疾患
* 05 循環器系疾患	◆ 06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
● 07 筋骨格系疾患	■ 08 皮膚・皮下組織の疾患
△ 09 乳房の疾患	▽ 10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
+ 11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	× 12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
* 13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	◇ 14 新生児疾患
○ 15 小児疾患	□ 16 以上項目に分類されないその他の疾患

(7) 地理情報の視点からの外来機能の分析に関する検討

7-1. 外来受療距離基本分析

○視点

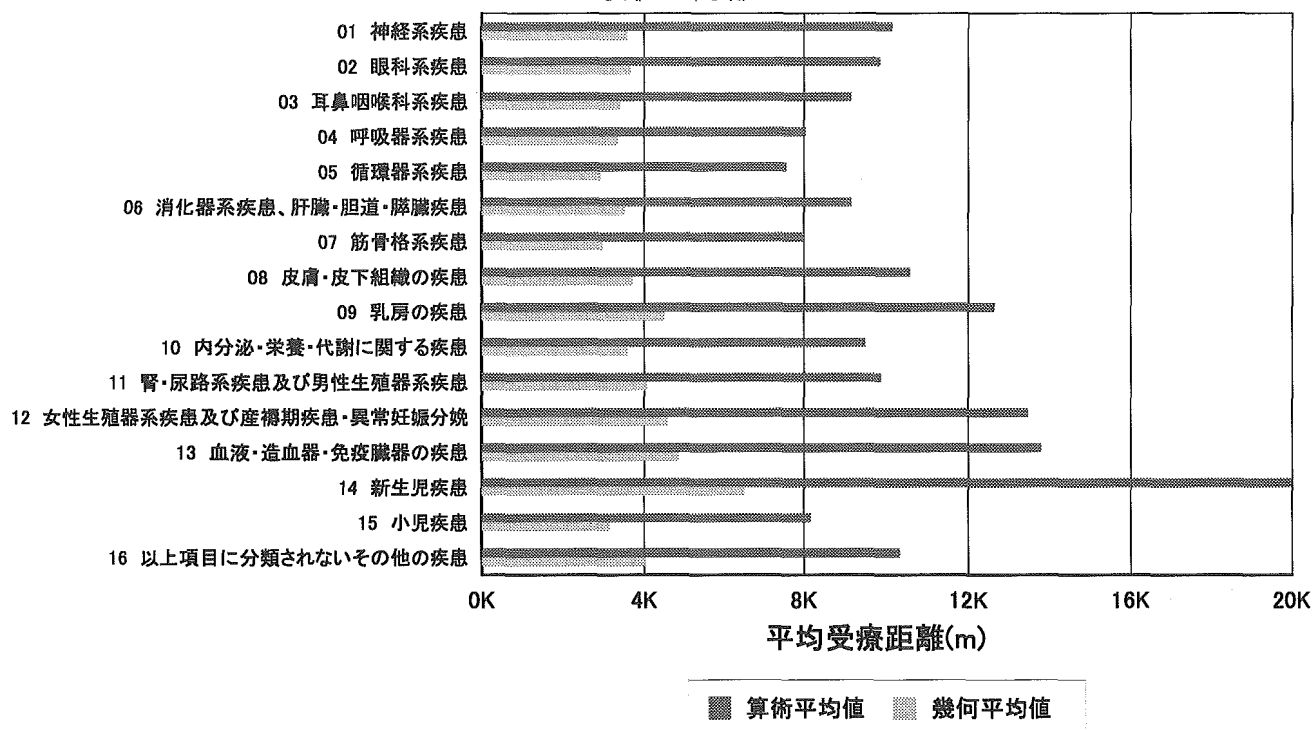
傷病、医療機関機能分類、地域差が外来受療距離にどのように影響しているかを見るために、再診、初診別に算術平均値と幾何平均値に分けて集計したチャート。

○分析結果の要点

- ・幾何平均値は算術平均値より小さく、データの分布が長い方に伸びていることを示している。
- ・傷病分類別に見ると、初再診とも新生児疾患の受療距離が長い。
- ・医療機関機能分類別に見ると、再診では、特定機能病院、大学病院、中小民間病院の受療距離が長く、初診では、民間大病院、特定機能病院の受療距離が長い。
- ・地域別に見ると、北海道の受療距離算術平均値は長いですが、幾何平均値は他と同様であり、受療距離の分布に広がり大きいことが予想された。

主要診断群分類(MDC)別平均受療距離

対象：再診



主要診断群分類(MDC)別平均受療距離

対象：初診

